

簡易放射線測定器の操作方法と注意事項

環境放射線モニタ Radi PA-1000 ((株)堀場製作所)

～必ずお読みください～

※貸出しする測定器は、空間放射線量（単位：マイクロシーベルト）を測定するもので、食品や水等に含まれる放射性物質の量（単位：ベクレル）を測定することはできません。

■使用上の注意事項

- 1 測定器を落としたり、先がとがっているもので突いたりしないよう、丁寧に扱ってください。
- 2 水に浸けないでください。水がかかった場合は、すぐに水分をふき取ってください。
- 3 高温多湿、低温（-5℃以下）を避けて使用してください。
- 4 汚れ、汚染防止のため、測定器はビニール袋に入れたまま使用してください。
- 5 強い電波を放射する機器類（携帯電話や電子レンジ、テレビ、無線機など）のそばでは、正確な測定ができないことがありますので、近づけないようにしてください。

■測定器の使用方法

①電源ボタンをピッとブザーの音が出るまで押してください(0.5秒間長押し)。



②数字 35 が表示され、1 秒ごとに数字が 1 ずつ減ります（測定の準備中）。



③電源 ON 後、35 秒以降は放射線量の指示値を表示します。単位はマイクロシーベルト/時です。



④もう一度、電源ボタンを押すと、電源が切れます。



簡易放射線測定器の操作方法と注意事項

■測定方法と記録

- 1 表示値は、 $\mu\text{Sv}/\text{時}$ （マイクロシーベルト毎時）の単位で示され、60秒間の平均から値を計算しています。より正確に測定するために、電源を入れたり、測定場所を移動した際は、60秒以上経過してから数値を読み取ってください。
- 2 測定の高さが被ばくによる人体への影響の目安となります。地表100cmでは大人への影響、地表50cmでは子どもへの影響の目安となります。また、地表5cmは土壌への放射性物質の蓄積量の指標となります。
できるだけ同じような状態で測定するため、測定器はなるべく体から離して、地面と平行にしてください。
- 3 市内における放射線量の状況把握のため、少なくとも1地点で測定してください。測定は高さ100、50、5cmのいずれかで行い、表示値を調査用紙に記録し、機器返却時に報告してください（報告された測定結果は、市内の放射線量の状況を把握するための資料として使用場合があります）。なお、私有地の清掃等は所有者・管理者等が行うことになります。市では行いませんのでご承知おきください。

■Q&A

Q1.測定器は何を測っているのですか？

A1. γ （ガンマ）線という放射線を測定します。放射線には、 α （アルファ）線、 β （ベータ）線、 γ （ガンマ）線など、いろいろな種類があり、体に与える影響の度合いはそれぞれ異なります。

Q2.表示値の $\mu\text{Sv}/\text{時}$ （マイクロシーベルト毎時）の意味は？

A2. 一時間あたりの空間放射線量です。Svはシーベルトと読み、放射線によってどれだけ影響があるかを表す単位です。 μ （マイクロ）は100万分の1を意味します。

よって、 1Sv (シーベルト) $=1,000\text{mSv}$ (ミリシーベルト) $=1,000,000\mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)となります。

Q3.放射能、放射線は感染しますか？

A3. 私たちが放射線を受けたからといって、私たちの体から放射線が出てくることはありません。放射性物質が付着したり、体内に取り込まれたりしても、周囲の人に影響を与えるほどの放射線は発しません

Q4.日常生活で注意が必要なことは何ですか？

A4. 水が流れず泥が溜まりやすい場所などでは、局所的に比較的高い放射線量が測定されることがありますが、長時間滞在しなければ問題ありません。このため、通常の服装で外出して構いませんが、気になるようであれば、次のことを実施することで、より安心していただくことができます。

①外出時にはマスクをし、土や砂、ほこりを口に入れないようにする。②土や砂、ほこりが口に入った場合には、よくうがいをする。③屋外で活動した後には、手や顔を洗い、うがいをする。④靴に付着した泥や土などをできるだけ落とす。

※ご不明な点は、右記の連絡先にご確認ください。

【問い合わせ先】

大船渡市役所 生活福祉部 市民環境課
電話 0192-27-3111（内線124・125）